

文化のちがいを受け止める ～多文化共生の学習(1年生)から～【西脇小学校】

「未来を生きる子どもたちに、ちがいを認め合うことの大切さを伝えたい」との願いから、市内の先生たちによる多文化共生の授業づくりが始まりました。公開された西脇小学校での実践を紹介します。



山本 文香さん
西脇小学校 1年担任

外国人に対する差別や偏見をなくすためには、低学年の段階から外国の人々や文化にふれることが大切だと思います。実際にふれてみることで、外国のことをもっと知りたい、外国人に会ってみたいという気持ちが生まれてくるのだと思います。子どもたちには、こういった体験を通して異文化にふれる楽しさや外国人と交流する喜びを感じてほしいと願っています。

学級活動「韓国の文化にふれよう」

民族衣装「チマチョゴリ」と出会う



チマチョゴリを着た先生が登場。初めて見る外国の民族衣装にびっくりして声が出ない子どもたち。ある児童の発言をきっかけに…

かわいい。
本当にかわいい。
着てみたい!
着たい!着たい!

韓国ではグーチョキパーを「カウイ」「バイ」「ボ」って言うんだ。

英語では「ロック」「シザーズ」「ペーパー」って言うんだよ。

やった!先生に勝った!

思っていたより楽しい。

韓国の「じゃんけん」で遊ぶ



あるがままを受け止める子どもたち

韓国のこま「ペンイ」で遊ぶ

棒の先についた紐でこまを叩いて回します。なかなか紐がペンイにあらず、苦戦する子どもたち。しかし、子どもたちは遊びをやめようとはしません。

うまくあたらないな。
難しいな。
やった!ペンイにあたった!
もっと練習してうまくなりたい!



韓国のすごろく「ユンノリ」で遊ぶ

さいころの代わりに4本の木の棒を投げて進みます。棒の表と裏の組み合わせで出た目が決まります。友だちと一緒に数を確かめながら、楽しんでいました。

棒が床に落ちる音がおもしろくて楽しい!
日本のすごろくと進め方が似ているね。
こんなところに近道がある。すごいな。



生活科「韓国の遊びを体験しよう」

他の国には、どんな遊びがあるのかな?

児童の興味関心から 次の学習へ

世界のいろんな国の遊びをしてみたいな!



学習後の感想

日本にはない遊びがたくさんあって、びっくりしました。遊んでみると楽しくて、もっとやってみたいと思いました。韓国のことがわかってよかったです。

ちがいを認め合える社会をめざして ～西脇市人権教育研究大会シンポジウムから～

心豊かに生きていくことを誰もが願っています。それは日本に住む外国人の方々も同じです。多国籍化の進む社会の中で、当事者たちは何を思い語ったのでしょうか。

近年、日本を訪れる外国人観光客の数は増え続けています。同時に日本に住む外国人も増え続けています。西脇市における在留外国人数は、2020(令和2)年3月の調査で687名となりました。今後、外国人と接する機会はさらに増えることが予想されます。その一方で、言語や文化、宗教、慣習などのちがいによって、様々な問題が起きています。外国人を含む全ての人の人権を尊重する社会をつくることが課題です。



井本 綾子さん 西脇南中学校 人権教育担当



Q 外国人生徒を受け入れるにあたっての悩みは?

何を教えればいいのか、どの段階から教えればいいのか、戸惑いました。生徒は一生懸命に勉強しようとしている。力になりたい。ただ言葉の壁がある。申し訳ない気持ちでいっぱいでした。

Q 外国人生徒に対してどのように対応している?

自分のスマートフォンに翻訳アプリをダウンロードして、それを使ってコミュニケーションをとっています。生徒が少しでも分かるように、教科書を母国語に全訳したり、時間をつくって日本語指導をしたりしています。そうすると、生徒がすごく喜んでくれて、大変ですがやってよかったと思いました。

中山 静さん 多文化共生ボランティア



Q 文化や慣習のちがいをどのように乗り越えた?

初めて日本に来たときは言葉の壁があって、戸惑いがたくさんありました。自分が素直に接すると、周りの方も分かってくれました。失敗をしても、「次、気をつけてね。誰にでも失敗はあるから大丈夫。」といった優しく声をかけてくださった。だからがんばれたと思います。

Q 外国人児童の支援をするきっかけは?

自分は幸せだないつも思っています。たくさんの方が私に優しさを与えてくださいました。周りにいる人の影響がすごく大きいと感じます。自分も何か役立つことができれば、私もみんなに自分の形で優しさを伝えたいと思うようになりました。

林 恵美子さん 西脇高等学校 1年



Q 日本に来て困ったことは?

中国から日本に来て、一番難しいと思ったのは友だちとの交流。家族に言えないことも多いので、友だちがいなくて話をする人がいなくて。日本語が分からないし、習慣も分からない。でもみんなと同じようにしたいんです。

Q 高校生活は楽しいですか?

どんどん生活にも慣れて、友だちもできました。部活の先輩はとても優しく、丁寧に教えてくれます。今は進路の選択があって、将来なりたい職業をめざして理系か文系かを考えています。興味があるのは医学かな。

外国人生徒の書いた人権作文

日本の学校生活について
西脇南中学校 1年 邢嘉悦さん

初めて日本に来た時のこと。まだ名前も知らなかった同じクラスの友だちが教室まで案内してくれました。日本語の分からない私に英語で通訳してくれました。先生も皆やさしかったです。授業中も分からないことがあれば、しゃがんで私と同じ目線で教えてくれました。さらに、日本のことが好きになり、日本でも暮らしたいと思えます。もっと日本のことを分かってみたい、好きになりたいと思います。



外国人生徒の
書いた人権作文

西脇南中学校 1年
邢嘉悦さん

日本と中国を比べてみると、私は日本のほうが好きかもしれないけれど、言葉が通じないけれど、人々の情熱、やさしさ、そして人への思いやりを感じます。

初めて日本に来た時のこと。まだ名前も知らなかった同じクラスの友だちが教室まで案内してくれました。日本語の分からない私に英語で通訳してくれました。先生も皆やさしかったです。授業中も分からないことがあれば、しゃがんで私と同じ目線で教えてくれました。さらに、日本のことが好きになり、日本でも暮らしたいと思えます。もっと日本のことを分かってみたい、好きになりたいと思います。